

運動会をきっかけに小学校との交流	(2) 小学校との連携・交流
公立保育所	こてはし台保育所
<実施時期>	10月～11月
<幼児期の終わりまでに育って欲しい姿に繋がる部分>	
「協調性」「思考力の芽生え」「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」「言葉による伝えあい」	
<活動のきっかけ>	
<ul style="list-style-type: none"> ・今までの運動会の反省を踏まえ、運動会が所庭で行えないときは小学校の体育館を借りる事をお願いし当初から打ち合わせをしていた。 ・小学校の体育館を使用した時の子どもの反応は、広さ、体育遊具の大きさに驚いていた。小学校に学年の旗があり自分たちのソーラン節で作った大漁旗と似ていることに気づく。これをきっかけに小学校への興味関心を持ちはじめた。 	
<活動のねらい>	
<ul style="list-style-type: none"> ・就学を楽しみにし、小学校での生活を身近に感じる。 	
<経験する内容>	
<p>小学校の大きな体育館で、ソーラン節を踊る。</p> <p>小学校の体育館の広さや、体育遊具の大きさ、掲示物に気づき関心を持つ。</p> <p>体育館を使わせていただいたお礼の手紙を書く。</p> <p>小学校までお散歩に行く。体育の授業を見学させてもらう</p>	
<新型コロナウイルス感染症に対する活動の工夫>	
<p>ソーシャルディスタンス、消毒、人数の制限、短時間という制限がある中で心に残る行事の持ち方を考える機会となる。運動会を年齢別で行い活動の中でグループ分けをし、少人数で行った。一人一人の運動会に向かう気持ちや、頑張りを丁寧に、受け止め行うことができた。</p>	
<活動の内容>	
<ul style="list-style-type: none"> ・運動会前に運動会ごっこを小学校の体育館で行う。当日雨だったため傘をさしたり、レインコートを着たりして出発する。雨具を使いながら皆で歩く事は、初めてだったため貴重な経験となる。体育館の広さや、体育遊具の大きさ、天井が高く声が響くことに驚き保育所との違いに気づく。又掲示されていた学年の旗が自分たちの作成した大漁旗に似ていると嬉しそうにしていた。大きな体育館でソーラン節を踊り緊張しながらも楽しむ。 ・体育館を使って運動会ごっこをしたことで「お礼のお手紙を書きたい」子どもたちから声上がる。「運動会でやったことが分かるように絵を描きたい」という子どもたちの声を聴きながら手紙の作成をする。 ・手紙を届けに小学校に出かけ、その時体育の授業を見学させてもらう。 	

<p><活動でみられた子どもの姿></p>	<p><環境構成・教材や保育者の援助等></p>
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で運動会ごっこをすることになり、当日は雨だった。雨具を使用しながら皆で歩く事は初めてで、緊張している様子だった。 体育館に入ると「ひろ～い」「せんせい、こえがひびくよ」と子どもたちは体育館の広さに驚いていた。掲示されていた学年の旗を見て自分たちが作ったソーラン節の大漁旗と重なり「あっ大漁旗みたいだね」という子どもたちの姿が見られた。少し緊張しながらもソーラン節を踊って帰ってくる。 ・体育館を使って運動会ができたので「小学校にお礼のお手紙を書きたい」「ソーラン節を踊っているところ描きたい」と子どもたちから声上がる。子どもたち同士で話し合いながら進めていく。「うんどうかいて書きたいけど字が分からない」と言い五十音表を持ってきてゆっくり書き始める。人を描くがうまくいかないと自信がない表情を見せる子もいた。鏡を見ると髪の毛がある、肩がある、腕も太いと子ども達なりに気づき描き始めた ・お礼の手紙を届ける。「ありがとうございます」と伝え教頭先生に受け取っていただく。校庭で体育の授業を行っていたので見せてもらう。「お兄さんたち走るの速い」「腕をいっぱい振って走っている「カッコいい」と感じたことを子どもたちなりの言葉で表現していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨の日に雨具を使いながら歩く経験がなかった。小学校までの道のり、前の人との距離の取り方や傘の持ち方、よく周りを見て歩くこと等声をかけながら配慮していった。 子どもたちの驚きや感動に共感しながら、一緒に体育館を歩いたり、学年の旗を見せてもらったり興味のあるところで立ち止まってみたりする。所庭で行う事と雰囲気は違うので子どもたちが不安にならないよう自由に踊れるようにした。 ・子どもたち同士でどんなお手紙を書きたいか、それぞれ子どもたちが意見を出せるよう話しやすい雰囲気にしていった。普段から手紙をかいたりする姿が見られていたので五十音表は、複数用意してあった。五十音表を見ながら書いたり、保育者と一緒に文字を調べたりしながら書けるようにしていった。人を描く事をイメージしやすいように鏡を用意し顔や体を観察できるようにした。 ・事前に学校に手紙を届けることを連絡して、その後校庭で行う体育の授業を見せていただけるようにした。子どもたちがどのように感じるかを受けとめ、共感し言葉で表せるよう会話を広げる。
<p><成果と今後の課題></p>	
<p>運動会で体育館を使用するというのをきっかけに小学校との交流ができた。お礼の手紙を届け、校庭での体育の授業を見せていただくことを快く受け入れてくださり小学校の協力で子どもたちが小学校を身近に感じる事ができた。又年度末には年長担当と総括主任保育士が学校を訪問させていただき年長の姿を伝えた。一年生の学年主任からは例年の4月の一年生の姿を教えていただくことで保育所生活の後半をどのような配慮をして行けばよいか考える事ができた。コロナ禍が続くことを考え交流の仕方の工夫をしていきたい。</p>	
<p><カリキュラムコーディネーターのコメント></p>	
<p>これまでの保育の見直しから運動会を小学校の体育館を借りて実施するという発案で、大きな体育館から小学校への興味・関心が引き出せて、結果幼保こ小連携の足場が作られましたね。子どもたちは体育遊具や掲示物、お礼の手紙、散歩を利用した授業参観などのきっかけを作ることが親密な関係を生み出しました。教員と保育者間の交流も実現し、一歩踏み出す勇気は大切だと思いました。</p>	